

平成 27 年度第 2 回

東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

H28.3.3(木)13:30~16:00

中央公民館一階第一学習室

【出席者】

(委員 計 10 名)

高橋 大輔、郷原 辰実、中沢 豊彦、白鳥 範男 (代理 桜井 典男)、小野 賢一、
佐藤 千枝、森 まり子、中澤 亥三、荻原 猛、工藤 浩平

〔欠席：宮原 則子、宮崎 徹哉、川口 隆也、関 正喜、新田 詔三〕

(敬称略)

(事務局)

土屋市民生活部長、柳澤課長補佐兼環境対策係長、環境対策係赤川、保育係青山、学校教育係柳澤

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会設置要綱
- ・資料

太陽光発電設備まとめ (野立て、住宅、事業所、公共施設) H27.12 現在設置実績

COP21 とパリ協定について

保育園、小学校、中学校の献立表

- ・中部電力(株) 中沢委員より提供

「電力小売全面自由化」に向けた当社の取り組みについて

中部電力の販売戦略と新料金メニューについて

- ・東信森林管理署 郷原委員より提供

ながの全国植樹祭だより

【議 事】

1. 開 会

2. 部長あいさつ

3. 会議事項

(1) 給食の地産地消について

(2) 27年度進捗状況の報告（特に太陽光発電普及状況について）

(3) COP21について

(4) 電力小売全面自由化について

(5) 意見交換

- ・ながの全国植樹祭について
- ・下水への異物流入について
- ・蓄電池について

4. その他

- ・任期満了について

5. 閉 会

【審議内容】

3. 会議事項

(1) 給食の地産地消について

保育係青山

子育て支援課保育係で、保育園の給食を担当しています青山と申します。東御市の市立保育園は東部地区に4園、北御牧地区に1園あり、いずれも園に給食室があります。

食育という面でも、食材はなるべく地元のものにこだわり、地元の食材の暖かさを伝えられるようにしています。

保育園で栽培したかぼちゃ、じゃがいも、なす、トマト、サツマイモや、園によってはお米も栽培しています。園児に植え付けや収穫体験をさせています。

配布資料の献立表のとおり、収穫した食材は給食に使用しています。

地元生産者の方（中山間地域総合整備事業 農林水産省）に協力していただき、地元のもち米で餅つきをしたり、一緒に給食を食べていただいたりしています。

学校教育係柳澤

教育課学校教育係で、小中学校の給食を担当しています柳澤と申します。市内には中学校が2校、小学校5校があり、北御牧小学校、北御牧中学校については共通の給食センターで給食を作っております。

食材は東部地区の小中学校はJA信州うえだ営農センターより仕入れています。北御牧地区は八重原米が有名で、給食にも地元のお米を使用しています。

市内産にこだわるには、出荷量の関係で安定的な供給が難しいときもあり、その場合は上小管内、佐久浅間管内等から仕入れています。また、東部中学校は7～8クラスあり特に大規模校で、大量調理のため形状が揃っていないとどうしても効率が悪いです。

そういったことを生産者の方にご理解いただくためにも、地元農家や営農センターの方を招いて一緒に給食を食べるなどしています。

また、地産地消の取り組みをどのように子どもたちや保護者に伝えているかですが、配布資料の献立表にあるとおり、「今月の地域食材」として食材名と、学校によっては農家さんのお名前をお知らせしています。保護者対象の試食会も行っています。

質疑応答

（地産地消の割合について）

中澤委員（公募）

努力していただいていることはわかりました。数字にすると東御市産、県内産はどのくらいでしょうか。

保育係青山

保育園は、27年度は54品目中24品目を営農センターさんから仕入れています。

学校教育係柳澤

学校は、27年度の数字は今手元にありませんが、26年度は食品数で県内産45%でした。じゃがいもやかぼちゃなど、保存が利くものは市内産でも使いやすいですが、きゅうりやなすなど保存が難しい食材は、給食で必要とする量を一度に市内だけから仕入れることが出来ない場合があります。

環境対策係赤川

魚は遠くから入荷しているそうです。また、夏は野菜がたくさん取れるから地産地消の率も高くなりますが、冬は暖かい土地から仕入れることが多くなるそうです。

(米について)

佐藤委員

保育園は、3歳未満児さん以外にご飯だけ持参だということですが、お米を作っていないご家庭もあるので、保育園でご飯も給食に出して、北御牧地区のように市内のお米を園児に食べてもらうというのはどうですか。

保育係青山

おかずについては、厚生労働省からの補助金で提供しています。他の市では、保護者からお金を徴収してごはんを園で炊いている市もありますが、東御市はごはんを持参してもらっています。

ごはんを園で炊く事も検討したことがあり、園児は1人40gで量も少ないので、やろうと思えば出来ます。しかし東御市は米を作っているお家も多いということや、お母さんに毎朝ごはんを炊いてほしいという願いもあり、ご飯持参をお願いしています。

佐藤委員

わかりました。次に東部地区について、小中学校は炊いていただいたご飯を運搬している委託炊飯だということですが、北御牧地区は地元の給食センターで炊いているので羨ましいです。東部地区でも炊けることができれば、お米の産地も東御市産にすることが出来るのでは、と思います。

学校教育係柳澤

給食室のスペースの問題で、切り替えるとなると施設改修等が必要になってくるかと思

います。

(給食の残飯について)

佐藤委員

給食の残飯の処理について、学校ごとに生ごみ処理機を導入していると聞きましたが、
どうですか。

保育係青山

保育園は園ごと導入しています。そこで出来た堆肥は保育園で使っています。

学校教育係柳澤

学校も学校ごと生ごみ処理機を導入しています。堆肥は学校の花壇や畑で使用しています。
滋野小学校は、近所の農家さんに譲るなどしています。

(地産地消の定義について)

郷原委員 (東信森林管理署)

学校の地産地消率が、県内産で 45.2%ということですが、市内産だけだとどうですか。

学校教育係柳澤

地産地消の範囲についてですが、農協さんから仕入れている関係上、上小管内、佐久浅
間管内が主となっています。

郷原委員 (東信森林管理署)

市内産は把握するのが難しいということですね。地産地消は県内産と定義してはいかが
ですか。

環境対策係赤川

温暖化対策という意味では、カリフォルニアのオレンジより市内のりんごを食べたほう
が、輸送費がかからなくて二酸化炭素が出ないということです。

森委員

北御牧小は食堂があり、生徒は個々の教室ではなくそこで給食を食べるそうです。以前
北小に行ったときに、食堂に「今日のじゃがいもは〇〇さんちのものです」と掲示があり
ました。北御牧地区は小学校と中学校が 1 校ずつだから、手の入ったことが出来るのかも
しれませんが、東部地区もそうなりたいです。

(野菜の形状について)

森委員

うちの近所でキュウリを作っている人がいて、まっすぐなものは農協へ、給食へはちょっと曲がったものでも良いと言っています。曲がっていても少しは安くなると給食費も助かるのでは。

献立表を見ると、冬にキュウリが何度も使われています。色合いを考えてのことだとは思いますが、季節はずれのものを使うのは体も冷えるし、高上がりだし、遠くから仕入れないといけないし、そんなに使わなくても良いかなと思います。

学校教育係柳澤

野菜は3回洗って、切って、ボイルして、冷やして、という作業を行います。東部中学校は特に大規模校ですので、形が揃っていないと効率が悪くなってしまいます。また1月は、市内は大根、白菜などしか納入がなくなるので、毎日同じ食材というわけにもいかないので、たまにはキュウリも使っています。

キャベツについては、この月は市内の田口さんという方から仕入れることが出来たので、多めに使っています。

洗うのは手作業ですが、切るときは裁断機です。1人1人に同じように行き渡るように均等に切るには、形状が揃っているとやりやすいです。

じゃがいもは皮むき機でむいていますが、大きさがばらばらだと、うまくむけません。ただし調理に手のかからない日は、手でむいたりして対応することが出来ます。

高橋会長

以前、山形で聞いた話ですが、給食室に、下手にオートの機械を導入してしまうと逆に使いづらいと聞いたことがあります。昔のやり方のほうが、融通が利くんだとか。

郷原委員（東信森林管理署）

給食現場がせっかく一生懸命にやってくれているので、進捗管理の表の数字に見えてくれば良いですね。

(学校教育係柳澤、保育係青山 退場)

(2) 27年度進捗状況の報告（特に太陽光発電普及状況について）

環境対策係赤川

野立て太陽光、住宅屋根、事業所屋根等の太陽光発電設備普及状況について、平成27年12月現在の実績を報告します。

今年度は野立て太陽光の設置件数、kWが例年と比べ大幅に増え、26年度と比較しても

6倍となりました。また、今まで市内にはメガ級（1,000kW以上）の太陽光はありませんでしたが、今年度は2件の申請がありました。

野立て太陽光の目標値については2020年までに累計3,500kWであり、26年度末の時点ですでに進捗率79%でしたが、27年度12月時点で累計9382.8kWとなり、目標を大きく達成しました。

ただし設置については、平成26年10月より10kW以上のものについても市への届出制としており、特に地元合意と雨水排水処理について注意し、地元に影響のないようにやっています。

質疑応答

（太陽光パネル下の土地利用について）

中澤委員（公募）

太陽光パネルの下は草が生えていたほうが生態系に優しい気がするが、どうするとよいのだろう。上質のお茶は光が当たりすぎると良くないので、わざと遮光するのだそうです。パネルの下で何か栽培できると良いですね。

我が家の前のブドウ畑が太陽光になってしまったのですが、なんとなく、暑いときはより暑く、寒いときはより寒くなったような気がします。なんとなくですが、ブドウ畑のときよりパネルのほうが光や熱を吸収しなくなったからかなと思っています。

高橋会長

そうですね。植物が生えているがゆえに、それから受けていた恩恵が、パネルになることで得られなくなってしまうかもしれません。生き物が失われると、損をするのは周辺の住民ですから。

荻原委員

太陽光パネルの下で朝鮮人参を育てている人は知っています。パネルの下を草地にするとしても、持ち主にしてみれば雑草を刈るのが大変です。

太陽光パネルで熱が吸収されなくて、温暖化が進んでしまうとしたら、研究を進めてほしいと思いました。

高橋会長

パネルを設置するために、二酸化炭素の吸収減である森林が失われてしまうとしたら逆効果ですね。

（雨水計算について）

土砂崩れ対策については、県の基準にのっとり雨水計算をして、それに耐えられるよう

な貯水池を作ってもらっているとのことですが、県の基準への上乗せの検討はされていますか。

県の基準以上の規制は考えていませんが、そのかわり地元、業者、行政の連携を蜜に行い、地元で安心してもらえるようにしています。

(地元の合意形成について)

中澤委員(公募)

もし何か起こったときも、100年に1度だからしょうがないよね、と被害を受けた人が納得するようにしてほしいです。知らぬ間に勝手に決められて、事故にあうのは嫌です。

森委員

和地籍の、菅平有料道路の脇の山の斜面が、木を切って太陽光になったが、私はその下流の地区に住んでいます。地元と業者と行政が連絡を取り合っていることを、今日この会議で、役場職員の方の口から直接聞くことが出来たので、安心した。近所で心配に思っている人がいれば、それを伝えてあげようと思います。

(太陽光の設置件数の推移について)

森委員

配布資料を見ると、野立て太陽光は27年度が一番多いですが、住宅屋根は24年度がピークで、綺麗に反比例していますね。

環境対策係赤川

平成25年度に国の補助金が終わり、市の補助金もやめてしまった市町村もあり、そういう市はHEMSの補助金などに移行していています。当市は日照時間が長いので、太陽光設置補助金を今後も続けるつもりでいます。

(3) COP21について

環境対策係赤川

11月にパリでCOP21の会議があり、京都議定書に変わる国際的な枠組みが決まりました。日本は2005年比△25.4%となり、微減となりました。

東御市の温対計画目標値ですが、今のところ中期目標は達成できる見込みです。達成できるかもしれない目標を国に準じてさげるのももったいないことですので、今後動向を注視しながら決めてゆきたいと考えます。

質疑応答

荻原委員

市の目標値はかえる必要はないと思いますが、太陽光の設置は、買い取り価格も毎年下がっていますので今後はこれ以上増えないはずです。

むしろ、耐用年数が過ぎたら産業廃棄物となり、処理をどうするのか、まだわかりません。私もパネル設置工事に行きましたが、パネルは30年もちません。パソコンはすでに寿命を迎えているものもあります。

今後は木質バイオマス発電が来るかと思っています。森を大事にしたいです。

工藤委員

COP21が下がったからと言って、市の目標は下げなくて良いと思います。

中澤委員(公募)

目標はパリ協定以上にしても良いくらいです。国より高い目標を掲げ、それを市のアピールポイントにしてはどうでしょうか。私は東御市に移り住んできた身ですが、ここはよいところです。住んだことのない人にも知ってほしい。

高橋会長

地方創生のからみではなにかありますか。

土屋部長

東御市の売りは豊かな自然です。「KURA」という雑誌がありますが、このたび東御市特集の別冊が発行されました。みなさんもお覧になってください。

環境対策係赤川

東御市には木質ペレットストーブと薪ストーブの補助制度がありますが、薪ストーブの補助制度は珍しいということです。

「KURA」では、Iターン、Uターンを促進するために、薪ストーブの設置補助を利用して家を建てた、小さなお子さんのいるご家庭に取材して記事になっているようです。

(4) 電力小売全面自由化について

中部電力(株)西島お客様課長

「電力小売全面自由化」に向けて、当社では「地域を越えた電気のやり取りを拡大する」「電気の小売を全面的に自由化する」「送配電ネットワークを利用しやすくする」の3つを柱とし、電力システム改革を行います。

また、自由化に向け、激しい競争を勝ち抜いていくために新料金メニューを展開してい

きます。

質疑応答

(電力小売について)

中澤委員(公募)

うちへ「a u でんき」について勧誘が来ていて、中電さんより安くなるそうです。なぜ a u は自分で発電していないのに、安くできるのでしょうか。安かろう悪かろうではないのか。

中沢委員(中部電力)

他社さんのことはわかりませんが、携帯料金などとセットにして全体で利の出るようになっていっていると思います。電気だけでは儲からないと思います。

自社で発電していなくても、日本卸電力取引所というところから電気を買うことができます。大きな工場に自家発電を持っている会社さんであれば、それで発電して日本卸電力取引所(JEPX)に電気を売ることができます。中電も、電気が余った時は取引所に売っています。

(契約アンペアについて)

森委員

うちは、エコ生活をしているから電気料金がすごく少ないです。今、契約が40Aなので、一度30Aに代えてみたいと思っていたのですが、お金はかかりますか。やってみて、もしブレーカーが飛んだらまた戻らせていただきたい。

中沢委員(中部電力)

かかりません。

(検針について)

環境対策係柳澤補佐

電気の契約を中電さんから他社にした場合、検針は誰がするようになりますか。また、同じ支払い者が複数の建物を持っていて、複数の契約(メーター)があるとき、乗り換えられるのはメーターごとですか。

中沢委員(中部電力)

スマートメーター化しますので、基本的には自動検針となります。しかし、もし出来なかったら中電が検針にお伺いします。検針のお知らせも中電からです。

請求書、支払いは電気の契約をした会社さんへやっていただくようになります。断線、

停電のご相談も中電です。

また、乗り換えるときはメーターごと可能です。

環境対策係赤川

たとえば、北海道の人が中電さんと契約することは出来ますか。

中沢委員(中部電力)

営業はあまりやっていませんが、東電管内には、中電の営業も仕掛けています。遠くても、電気代が高くなることはありません。以前は、電力会社をまたぐと託送料というのがパンケーキ式に増えていく仕組みでしたが、それでは自由化が進まないということで、今は一律になっています。

環境対策係赤川

3月中に契約すると安くなるという、顧客を焦らせるようなことはしていますか。

中沢委員(中部電力)

していません。

(5) 意見交換

・ながの全国植樹祭について

郷原委員(東信森林管理署)

長野県で開催されるのは、昭和39年の第15回茅野市以来となります。各種イベントは県内各地で行われますが、高橋会長のいらっしゃる長野大学の裏山の自然運動公園でも行われます。

その中で、天皇陛下のお手蒔きというのがありますが、そのイベントで使用する木の箱は木曽ヒノキで出来ており、また、内箱は、第15回で植樹した森の間伐材で出来ています。植樹祭のスローガンである「植えて育て利用する、森林のサイクルを取り戻そう」という思いがこめられています。

また、応援イベントとして、東御市で5月4日に「森を守ろうコンサート」が新張の四季の森 里山を守る会で行われます。

・下水への異物流入について

工藤委員

この前、エフエムとうみで「下水に油を流さないで」という放送がやっていました。廃食用油は拠点回収しているのだから、ただ、「流さないで」というだけではなく、「回収している」ことも合わせてお知らせして欲しいです。

・蓄電池について

中澤委員(公募)

我が家の太陽光は、昼の発電と夜、買うので合計で売っている方が多いです。蓄電池があれば外から買わなくてもよくなると思います。

中沢委員(中部電力)

これからは、EVが蓄電池の代わりになる社会がくるようです。太陽光で発電した電気をEVに貯めます。ただ、蓄電池(バッテリー)の耐久性にまだまだ課題があります。車のバッテリーを2、3年に1回交換しているのと同じです。

4. その他

・任期满了について

環境対策係赤川

この3月で、平成25年度から3年間の任期が終了になります。会社さんへは、新たな委員の推薦をお願いしています。公募もまたやりますのでよろしく願いいたします。また、次回の会議は平成28年8月を予定しており、委嘱もまた、させていただきます。